

嵯峨溪

日本の三大溪のひとつとされる嵯峨溪は、溪流ではなく海の波によってつくられた唯一の峡谷です。嵯峨溪は奥松島と呼ばれる風光明媚な地域に浮かぶ宮戸島から太平洋に突き出した先端部分に位置しています。松島湾の穏やかな海に比べると、奥松島の海は荒々しく野性的で、島々や断崖絶壁のドラマチックな形がその波の力強さを伝えています。

この類まれな地形の見どころは、象や亀から掛け軸や日本列島の地図の一部にいたるまで、様々なものを連想させる岩の数々です。また、垂直な岩に長く根を張った松の木、隠れたところにあるエメラルド色の洞窟、カキの養殖床、海鳥の群れも印象的です。夏には、岩の隙間に大きな白いユリが花を咲かせ、白鷺は崖上から水中の魚に目を光らせます。

嵯峨溪の島々や急峻な断崖は船から眺めるのがおすすめです。あおみなびじターセンターのすぐ向こうにある小さな港からは、年間を通して定期的に遊覧船が出ています。溪谷のごつごつとした崖や近隣の小さな島々のすぐ近くに停泊する小さい観光船に乗れば、刻々と変化するこの風景を間近で体験することができます。